

第1回 市民報告会



「市立病院再生に向けて」

銚子市長 野平 匡邦



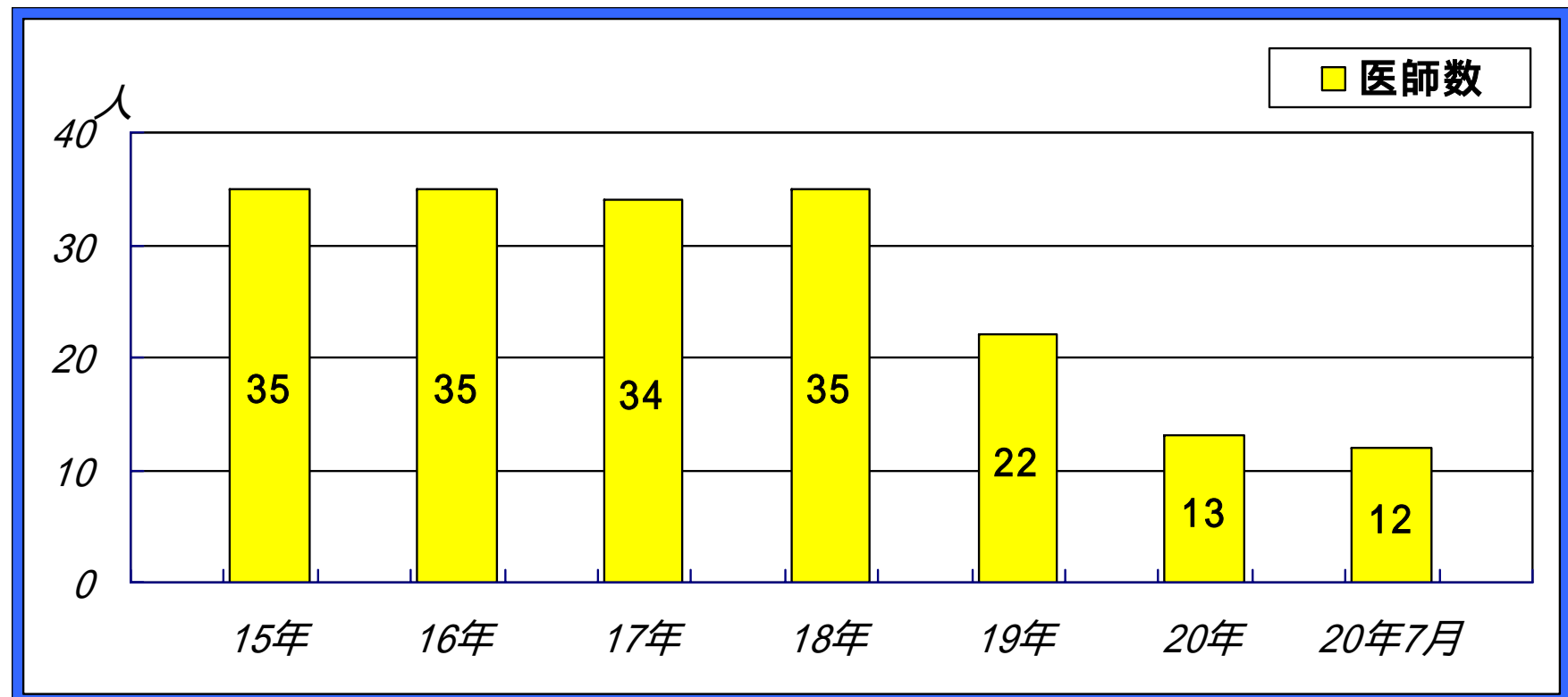
これまでの経緯(市長就任から)

5月18日	市長就任
6月26日	第5回 指定管理者選定委員会を開催
7月16日	臨時議会で病院再生関連補正予算が可決 (3,150万円)
7月23日	「銚子市立病院再生準備機構」と委任契約 締結(東京事務所:港区内(スペースは8畳))
7月28日	第1回 再生準備機構総会の開催
8月17日	市立銚子高校へ事業概要説明(看護師確保対策)
9月29日	第2回 再生準備機構総会の開催

市立総合病院休止の原因(その1)

原因1: 常勤医師の急激な減少

常勤医師数の推移 (各年の4月1日現在) 嘱託医、派遣医を除く



出処: 資料(銚子市立総合病院)

市立総合病院休止の原因(その2)

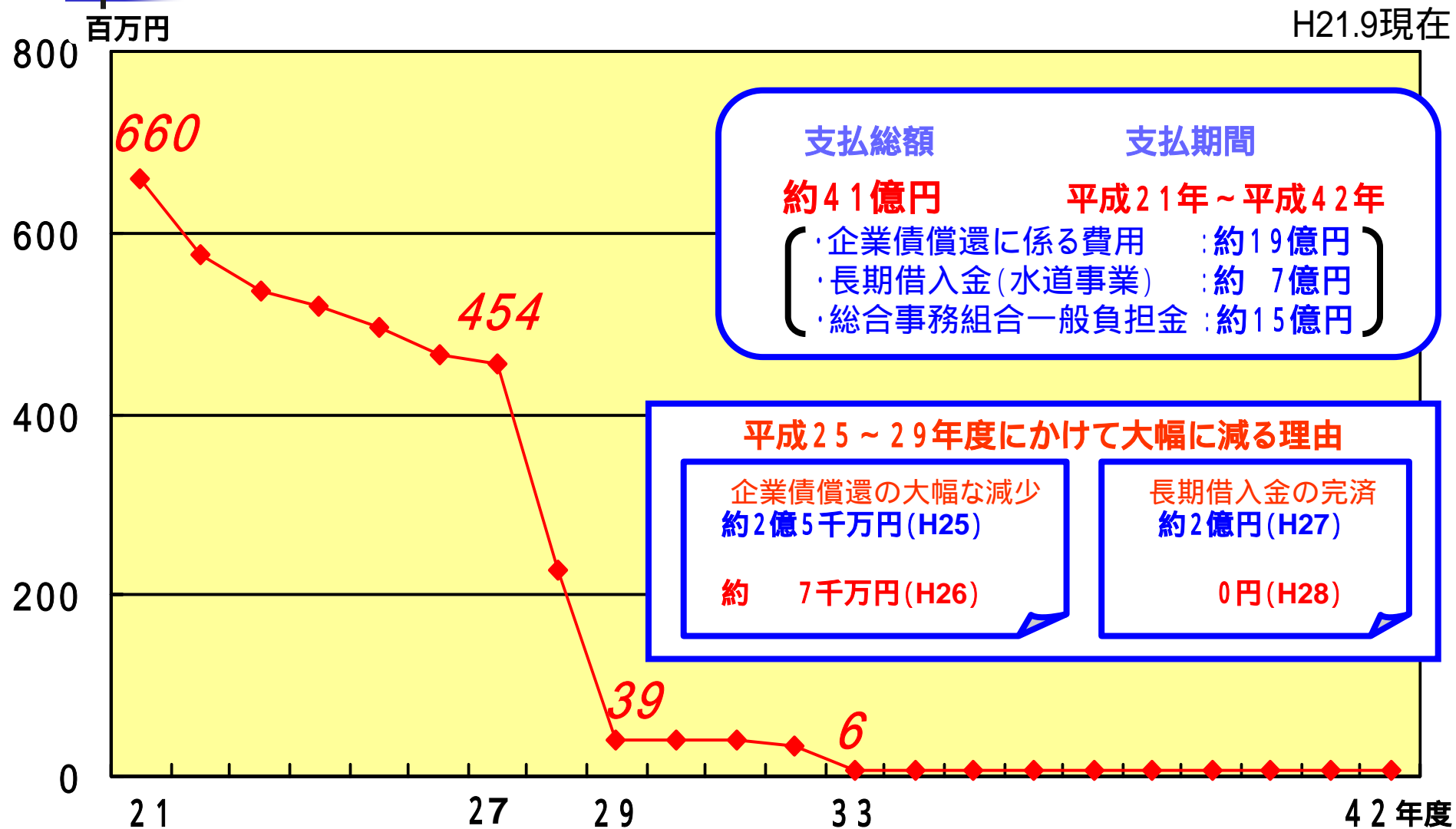
原因2: 財源不足(一般会計からの繰出しの限界)

病院事業会計への負担金等の推移

年 度	金 額	病院事業 累積欠損額
昭和59年～平成5年(10年間)	約82億6千万円	平成15年まで 約4億6千万円
平成6年～平成15年(10年間)	約89億6千万円	
平成16年	9億2千万円	約6億2千万円
平成17年	9億円	約9億3千万円
平成18年 (水道事業からの 長期貸付7億円を含む)	16億円	約16億円
平成19年	15億円	約18億4千万円
平成20年(当初予算のみ)	9億円	参考:平成20年(決算)
合 計	約230億4千万円	約23億9千万円

出処:資料(銚子市立総合病院)

病院事業への固定経費支払見込額



出処: 資料(財政課)

市立病院の維持管理に係る主な経費

平成21年度 病院事業会計予算(医業費用の一部抜粋)

項 目	金 額
給与費	約2千8百万円
経 費 (負担金除く)	約1億7千4百万円
合 計	約2億2百万円

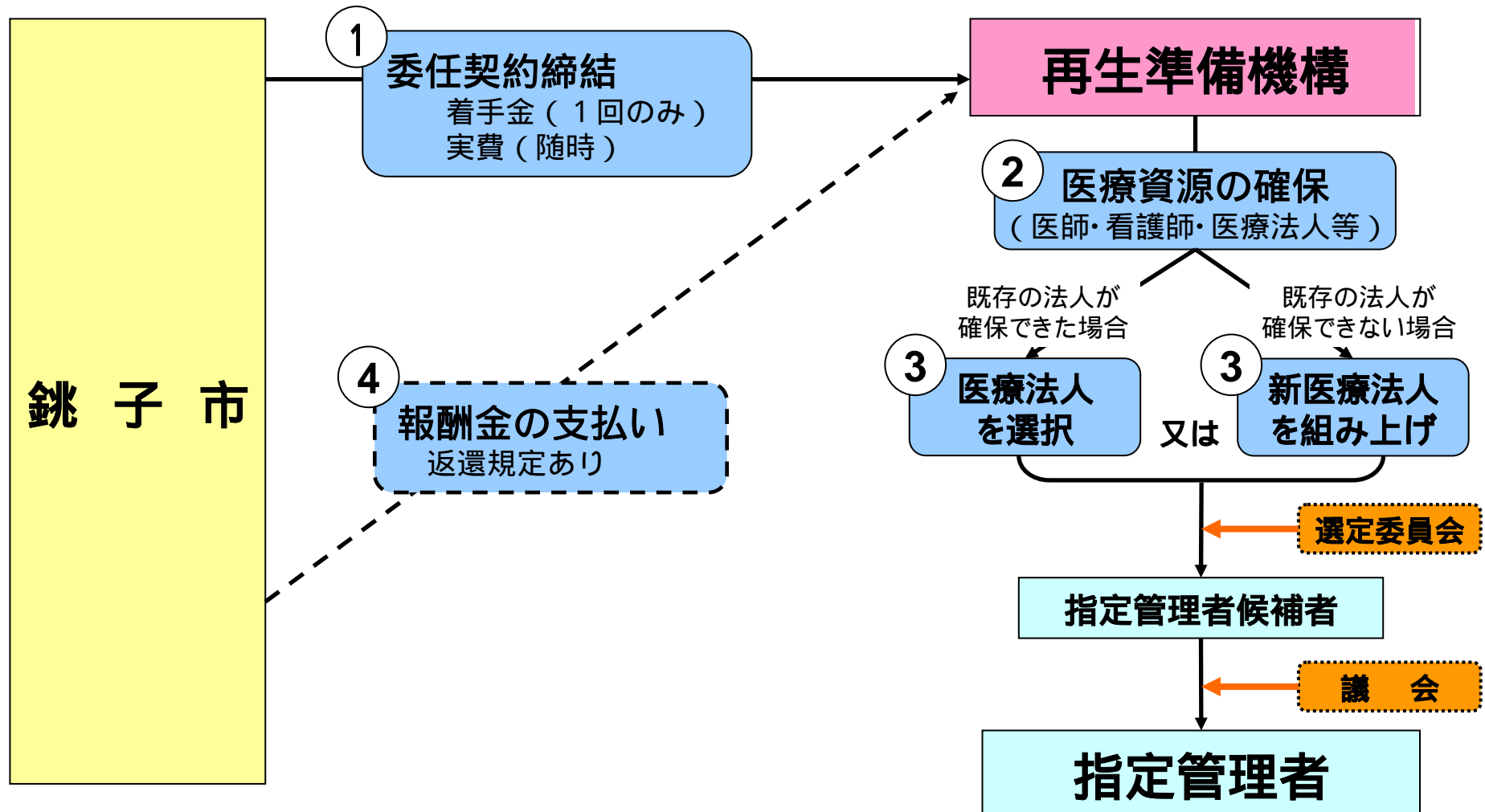
出处:資料(病院管理室)

市立病院の維持管理を5年間、行った場合

約2億2百万円 × 5年間 = 約10億1千万円


病院再生に向けての取組(その1)

銚子市立病院再生準備機構との委任契約





病院再生に向けての取組(その2)

再生準備機構 委員名簿

	氏名	現職又は最終職業
	木多 良輔 き た りょうすけ	病院顧問 (大阪回生病院)
 No photo	東谷 隆夫 ひがしたに たかお	弁護士 (真和総合法律事務所)
 No photo	大澤 一記 おおさわ かずのり	弁護士 (日本橋人形町法律事務所)

病院再生に向けての取組(その2)

再生準備機構 委員名簿

	氏 名	現 職 又 は 最 終 職 業
 No photo	こばやし としのり 小 林 俊 規	病院経営企画室長 (長野赤十字病院)
 No photo	はらだ おさむ 原 田 修	大学病院部長 (浜松医科大学病院)
	た な か はじめ 田 中 肇	会社経営 (日本コンテンツネットワーク株)



病院再生に向けての取組(その3)

再生準備機構への委任契約内容

- | | |
|---|--|
| 1 | 市立病院のあり方の検討及び病院再生までの計画
(あり方：公立病院として経営的に持続可能な、診療科、病床規模等) |
| 2 | 病院のあり方を踏まえた上で必要となる 医師・看護師等 の確保 |
| 3 | 病院の経営主体となる既存の医療法人等の確保 |
| 4 | 既存の医療法人等の確保ができない場合は、経営主体の設立 |
| 5 | 病院再開後における運営に関する事項の管理 など |



病院再生に向けての取組(その4)

再生準備機構の主な活動状況

(9月30日現在)

活 動 状 況	回数
1 医師確保のための取組 (医学部を持つ大学関係者との打合せ等)	6回
2 病院再生までの計画に関する取組 (関係者との打合せ等)	17回
3 市立病院の視察	2回
4 市立銚子高校を訪問(看護師確保のため)	2回
5 地域医療についての取組 (関係者との打合せ等)	4回

病院再生に向けての取組(その5)

病院再生までの工程表

銚子市立病院再開に係る工程表

		平成21年度				平成22年度				平成23年度				平成24年度				平成25年度			
		4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
病院再開	医療資源確保 (医師、看護師等)																				
	施設整備																				
	診療再開																				

※診療再開時期は、平成22年4月（暫定再開）を目標としているが、今後の医療資源の確保状況により変更になる場合がある。

※医療資源の確保については、暫定再開後も継続的に実施し、随時病院機能の拡充等を図る予定である。

※施設整備については、医療資源の確保状況を踏まえながら必要に応じて実施する予定である。

地域医療再生臨時特例交付金について

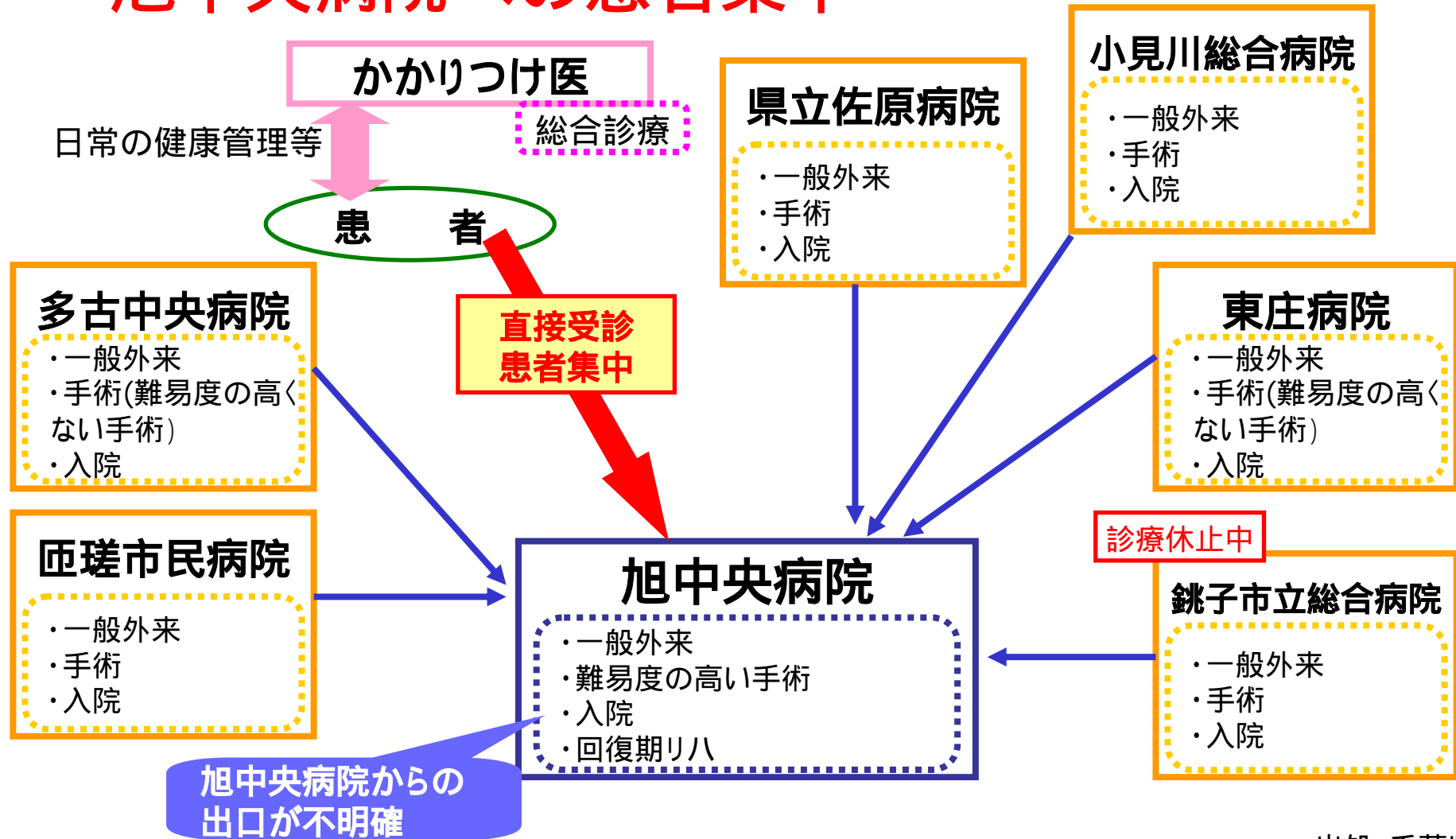
スケジュール

- 9月 2日 千葉県医療審議会(第1回)
- 9月30日 千葉県医療審議会(第2回)
県の計画を決定
- 10月16日 県から国に計画を提出
まで
国の有識者協議会による審査
事業の採択
- 12月又は 県に基金を設置
2月議会
事業の開始



香取海匠圏域の現状(その1)

旭中央病院への患者集中



香取海匠圏域の現状(その2)

1 旭市外から旭中央病院に受診する患者の増加状況

(H12 H20増加率[%])

	銚子市	香取地域	匠瑳地域	山武地域
入院	30.2	5.7	24.4	39.9
外来	4.9	16.7	2.5	9.8
救急	50.5	26.8	38.1	52.0

出処:資料(旭中央病院)

2 患者数(全国の自治体病院との比較)

第2位の1.5倍

一日平均 入院 患者数	1位 大阪市立総合医療センター 964人	一日平均 外来 患者数	1位 国保旭中央病院 3,507人
	2位 国保旭中央病院 868人		2位 大垣市民病院 2,417人
	3位 福井県立病院 865人		3位 豊橋市民病院 2,279人
	4位 大垣市民病院 812人		4位 大阪市立総合医療センター 2,224人
	5位 豊橋市民病院 772人		5位 札幌市立札幌病院 2,011人

出処:平成19年度地方公営企業年鑑

銚子市立総合病院の病床数

病床数の状況と今後の方向性

	銚子市立 総合病院	銚子市立病院 あり方検討委員会	銚子市立病院 再生の方向性
一般病床	200床	100～150床	50～200床 程度
療養病床	23床		
結核病床	20床		
精神病床	150床		
合計	393床	100～150床	50～200床 程度



市立病院再生の方向性

市立病院再生にあたっての検討事項

経営理念の確立

（「情熱ある診療」と「冷静な経営」との分別）

市内民間病院・診療所との協力体制の構築

（公的病院としての意義）

旭中央病院・千葉大との協力体制の構築

（地域連携を強化し、安心した医療圏を構築）